

「地（知）の拠点整備事業（COC）」共同研究助成募集要領

1. 趣旨

本研究助成は、本学の教員が地域ケアに関わる保健・医療・福祉従事者等と共同で、西区・須磨区を中心とした神戸市において、地域住民のケアとそれを支える多職種間ネットワーク機能および住民参加による地域連携教育に関する学術研究を行うことを奨励・発展させ、地域住民のケアと看護学教育の向上に反映させることを目的とする。

2. 対象および受給資格

- 1) 研究代表者は本学常勤教員とする。
- 2) 研究代表者として申請出来る課題数は、1課題とする。
- 3) 研究代表者は、同様の研究課題で他の研究助成金を受けていないことを条件とする。

3. 募集する研究課題と配分額

1) 募集する研究課題

- (1) 継続看護や訪問看護などの地域ケアとそのシステム構築に関する課題
 - (2) 住民参加による地域連携教育に関する課題
 - (3) 徘徊ネットワーク事業の評価に関する課題
 - (4) 地域診断研修の評価に関する課題
 - (5) 家族による終末期患者の看取り体験を語る会の設立と体験のデータベース化に関する課題
 - (6) 家族による認知症高齢者の介護体験を語る会の設立と体験のデータベース化に関する課題
- 2) 配分額は研究課題1件につき上限を100万円とし、総件数10件以内、総額は300万円とする。
- 3) それぞれの研究費割り当ては、年度初頭の拡大教授会において審議され、学長が最終決定する。

4. 研究期間

年度内に研究が終了するものとし、決算は単年度とする。但し、研究を継続する必要がある場合は次年度にも研究費を申請することができる。

5. 研究成果の発表及び報告書の提出について

- 1) 研究の助成を受けた者はその成果につき当該年度2月末迄に「研究実績報告書（編集部門の様式）」を提出する。研究実績報告書は同年度発行のCOC実績報告書に掲載する。
- 2) 研究実績報告書を提出した後、3年以内に研究成果を出版することを義務とする。この期限を過ぎる場合には委員長に申し出る。
- 3) 年度末にCOC報告会にて、研究成果の発表を行う。
- 4) 研究が未完了の場合、「研究経過報告書（編集部門の様式）」を提出し、次年度改めて「研究実績報告書」を提出する。
- 5) 研究成果を本学紀要および本学以外の雑誌等に発表するときには、「地（知）の拠点整備事業(COC)」採択による共同研究助成を受けたことを明記する。

6. 申請方法と審査

- 1) 所定の研究費助成申請書（様式）に必要な事項を記入の上、所定の期日までに事務局に10部提出すること。期日については別途通知する。なお申請書は、所定の様式に収まるように記載し、別途説明が必要な場合は資料を添付する。ただし、アンケート用紙、依頼書等の提出は不要とする。
- 2) 研究・紀要委員会において、申請書の内容を「COC共同研究助成申請書審査基準」に沿って審査し、その結果に基づき拡大教授会にて審議され学長が最終決定する。人を対象とした研究課題に関しては倫理委員会の承認を受けることを前提とする。
- 3) 倫理委員会の承認を受けた課題に関しては、審査結果を反映した申請書を再提出すること。

注記：申請書の研究経費明細欄にある備品費、謝金および旅費の使用法は限定されていますので、COC共同研究費助成に関する注意事項をご覧の上、適宜、事務局に確認して下さい。